

乙女がいた—  
声をあげた  
権力に抗して

Me too

# わが青春つきるとも

— 伊藤千代子の生涯 —

増補新版・原作:「時代の証言者 伊藤千代子」藤田廣登(学習の友社・刊)

桂 壮三郎 監督作品

企画・プロデューサー:桂 壮三郎 ラインプロデューサー:山地 昇 脚本・監督補佐:宮負秀夫 撮影監督:田宮健彦 アシスタントプロデューサー:平沢清一 照明:赤津淳一  
美術監督:安藤 篤 音楽:山谷和明 助監督:小野寺昭洋 制作担当:星 孝之 キャスティング:石井美保子 升本由喜子 衣装:おかもと技装 ヘアメイク:萩みみ  
制作協力:アトリエ羅夢 製作:映画「伊藤千代子の生涯」ゴーゴービジュアル企画

2021年 秋クラインクイン

2022年3月 完成



竹下景子  
(安井てつ)



窪塚俊介  
(浅野 晃)



金田明夫  
(土屋文明)



新人・井上百合子(伊藤千代子)



石丸謙二郎  
(特高)



嵐 圭史  
(老人)



印南 唯  
(西村櫻東洋)



角田 萌果  
(旭沢富美子)



田上 唯  
(渡辺多恵子)



平田 舞  
(今井久代)



塚瀬 香名子  
(平川心み)



曾川 留三子  
(浅野ステ)



宜野座 万鈴  
(原 菊枝)

待望の  
映画化  
製作快調!

賛同団体

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 日本国民救援会 日本婦人団体連合会 婦人民主クラブ 新日本歌人協会 全日本年金者組合  
全日本年金者組合東京都本部 全日本民主医療機関連合会 宇治・長野・大阪・東京各山宣会 (2021年4月現在)

chiyoko-cinema.jp





〈ものがたり〉  
100年前、権力に抗した  
一人の少女に、今私たちは  
何を感じるのか

「朝から晩まで働いても、満足にご飯が食べられない貧しい人たち、一方では贅沢をしている人たち……この不公平な社会をなんとかよい社会にしたい……」

時は明治・大正末期から昭和初期の激動の時代。天皇の絶対的専制政治のもと、国民は「天皇の臣民」とされ、貧困と無権利状態におかれていました。

千代子が東京女子大で学ぶ頃、稀代の悪法「治安維持法」が公布され思想言論弾圧がますます激しくなります。

千代子は、故郷の長野で製糸工場の大争議を通じ、労農党の浅野晃と知り合い、結婚。大争議を浅野とともに支援します。

そして日本共産党と共同戦線を組んだ労農党が初の総選挙で大躍進。その躍進を恐れた支配層は28年3月15日の大弾圧を加えます。千代子は検挙され激しい拷問を受け刑務所へ送られますが屈せず、獄中のリーダーとして侵略戦争に反対し、主権在民、ジェンダー平等の社会を目指して志を貫きました。

しかし、同志であり最愛の夫である浅野晃の変節と裏切りを知り、非人間的な刑務所での扱いもあって千代子の身体と精神は徐々に蝕まれていくのでした……。

## 1 弁当分け合う 心優しい千代子さん……

諏訪高女で土屋文明の薫陶を受けて育った伊藤千代子は、卒業後の代用教員時代、凶作や藤・生糸の暴落で弁当を持参出来ない児童を励まし、教室に残って弁当を分け合って食べていました。職員室にほとんど戻りませんでした。

## 2 『婦人論』読んで ジェンダー平等へのめざめ

「女が勉強して何にならずか」という風潮の中で、向学心に燃えた千代子は、諏訪高等女学校を目指します。仙台・尚絅女学校では自由・平等の新しい社会思潮にふれ、そして臨んだ東京女子大でベーベルの『婦人論』に出会い、「これだ」と感動した千代子は、郷里の友に書き送る……(1925年12月発信の手紙から)。

「女の人が覚める時、男子の催眠術から、  
そして自己の自己に対する催眠術から覚める時、  
どんなにすばらしい世の中が展かれて来るでしょう」

## 3 小林多喜二と伊藤千代子 — 時代が結んだ青春

1928(昭和3)年、日本で初めて25歳以上の男性のみの普通選挙が行われました。このとき、伊藤千代子は、北海道から出馬する労農党の候補者山本懸蔵の選挙出立資金を用立て、活動に参加していきました。

小樽では、待ちに待った小林多喜二らが「われらの山懸を迎えてたたかいの火ぶたが切られました。選挙応援の機会が巡ってきた多喜二は羊蹄山の麓へと吹雪をついて突き進みました…。「俺たちの運動は何代がかりだなあ」……(小林多喜二『東俱知安行』より)。

同時代に、小林多喜二と伊藤千代子は目に見えない糸で結ばれながら、社会変革への息吹を胸一杯に吸うのでした。

二人が、もし特高警察の弾圧で生を絶たれなければ、どんなに素晴らしい人生を切り拓いていったことだろう…。

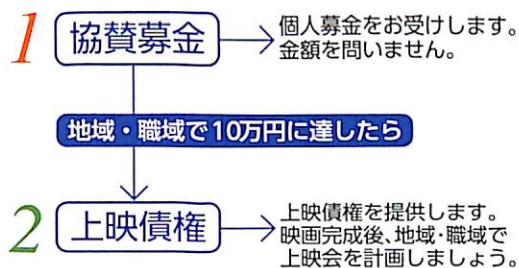


小林多喜二  
(1903~1933年)



伊藤千代子  
(1905~1929年)

製作支援2つのお願い  
製作資金づくりを  
みなさんのご協力で行います



### 「協賛募金」と「上映債権」のお申し込み先

「映画製作を支援する会(略称・サポーターの会)」

〒277-0043 千葉県柏市南逆井2-24-36  
藤田廣登 気付

担当: 藤田廣登 090-4527-1129  
mail: fujitahiro@outlook.com

**FAX 04-7174-2028**

送金先 (郵便振替口座) 00190-7-409200  
加入者名: 伊藤千代子の会

●下記申込者には郵便振替用紙を送付します。

## 協賛募金・上映債権 申込書

郵便・FAXでお申し込みください。

お名前&団体名 団体様の場合は担当者様のお名前もお書き下さい。	担当者	<input type="checkbox"/> 個人協賛募金 円 拠出
		<input type="checkbox"/> 製作資金 10万円 拠出
ご住所	〒	
電話・FAX	TEL	Eメール

取扱団体

✂ 郵送の際の切り取り線